

# F-mail

No.32  
平成22年6月25日号

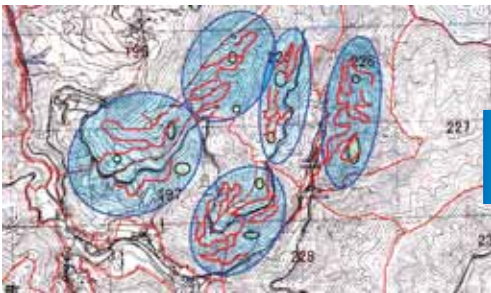
福井農林総合事務所だより

## 森林の集約化にご協力を☆

～福井市森林組合の取り組み～

福井市の森林は、「所有者が零細で、境界が細かく入り組んでいる」地域が多くあります。そういった現状で個々に施業をしても、施業効率が悪くまた道も計画的に開設することができません。そこで、所有者同士が協力し合い、施業の効率化と計画的な路網の開設を目指し、森林を「集約化(隣接する林地をまとめること)」して施業規模を拡大する動きが始まっています。

福井市文京にある「福井市森林組合」でも集約化の取り組みを平成20年度より開始し、平成21年度は主な箇所で3地区において集約化を実施しました。所有者が協力し合い森林をまとめたことで、計画的かつ効率的に路網を開設することができ、それによって高性能林業機械を活用して間伐材の伐出コストを削減することができ、無償で間伐や山に道が開設できただけでなく、いくらかの収益を所有者に還元することができました。



集約化の実施



路網の開設



機械の活用

このような流れで人工林の間伐を進め、間伐材を搬出し収益を還元していく計画をしています。福井市森林組合は、GPSを活用し、特に森林整備を行い山をきれいにした後に各所有者の施業地を図化する取り組みも行っています。

まず初めの一步は、所有者同士の協力による森林の集約化から始まります。

森林の集約化に関心のある福井市森林組合員の方は、福井市森林組合へご連絡下さい。



GPS測量機

### 福井市森林組合

〒910-0017 福井市文京6-11-13  
TEL:23-4008 FAX:23-4009

集落名	所有者数(名)	面積(ha)	搬出材積(m3)	路網延長(m)
福井市西荒井町	6	5.88	272	1,497
福井市御所垣内町	2	2.61	161	1,052
福井市田ノ頭町	9	11.20	516	2,916

平成21年度集約化実績

# 「ふくいの元気な森・元気な林業戦略」に取り組みます。

木材価格の下落や林業労務費の高騰などにより林業の採算性は悪化しており、林業への森林所有者の関心が薄くなっています。このため、間伐が必要な人工林の約半分は放置され、一部には手入れされていない荒れた森林が見られます。また、木材使用量の大部分を占める住宅分野において、木造住宅での県産材の使用割合は約3割と低い状況です。一方、森林資源は成熟期を迎えつつあり、利用可能な資源が増える中、合板や集成材といった県産材の新たな需要も生まれてきています。さらに地球温暖化対策や災害に強い森づくり、イノシシ・シカなどの鳥獣害対策、全国植樹祭の開催を契機とした県民運動の推進など、課題が山積しています。

このため、県では平成22年度から利用間伐や主伐により「木を伐って、木を使う」ことを進めるとともに、多面的な機能を持続的に発揮する森林を整備するため、森林・林業を元気にする7つのプロジェクト「ふくいの元気な森・元気な林業戦略」に取り組み、ふくいの元気な山と緑や花のあふれる美しいふるさとをつくっていきます。

詳しくはホームページを参照

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kensanzai/ringyousenryaku.html>

方向性1 経済林から木を伐り、木を使う

方向性2 環境林などを整備し活用する

## 具体策【森林・林業を元気にする7つのプロジェクト】

### 1.コミュニティ(集落)林業プロジェクト

- 集落単位で森林整備・木材生産の推進
- 集落を主体に「地域木材生産組合」を設立
- 木材生産計画と路網開設計画の策定



### 2.県産材(主伐材)活用プロジェクト

- 葉枯らし乾燥による天然乾燥材のブランド化の推進
- 川上・川下が連した地産地消の家づくりの推進
- 街の店舗や事業所への県産材活用の推進



### 3.間伐材利用拡大プロジェクト

- 大規模工場への共同出荷体制整備
- 火力発電所での混焼や製紙用パルプなどの利用拡大
- 木質バイオマスの利活用や新規の需要開拓



### 4.環境林整備プロジェクト

- 鳥獣害の暮らしを守る森づくりとして山ざわ緩衝帯を設置
- 災害と景観に配慮した森づくりとして公的間伐や土地本来の木を中心に植栽



### 5.緑と花の県民運動プロジェクト

- 県が県民運動の推進母体を受継ぎ継続的に推進
- 県民運動をポイント化したふっくりんポイント制度の創設
- ガーデニングサポートの強化



### 6.特用林産振興プロジェクト

- シイタケ等きのこのマッチング商談会による販路を拡大
- オウレンなど様々な山の幸について生産基盤の整備や後継者の育成



### 7.林業公社プロジェクト

- 利用間伐の実施等による収益確保
- 今後の分取造林事業のあり方を検討

# 管内トピックス

## がんばってます

新規就農者

西端 高洋 氏

実家は兼業農家でした。農業に興味はありましたが手伝い程度で、本格的にやろうということは全く考えていませんでした。農業関係の学校に入学しましたが、農業で食べていけるとも思いませんでした。卒業後はしばらく他産業に従事していましたが、やりがいや生きがいを感じる事ができず辞めてしまいました。

その後、縁あって近くの大規模農家のもとで働くことになりました。そこでは、プロの農業の厳しさ、楽しさを実感し次第にその魅力にとりつかれ、農業を自分の仕事として考えるようになり、いつしか独立することを夢見るようになりしました。しかし、自分に自信がなく「独立したい」と口にし、それを実行に移すまでには気がつくとも7年間の歳月が流れていました。時間はかかりましたが、ここでの貴重な経験が私の人生に転機をもたらしてくれたと心から感謝しています。

念願叶い、今年の4月から独立、就農し、福井市二日市でホウレンソウ、コマツナを栽培しています。これからは、自分が社長、自分で稼いで自分で責任をとるという立場に変わりました。当面の目標は、安定して収量を確保すること、そして、これまでもらっていた給料以上に稼ぐことができるようになることです。不安を感じることもありますが、新たな目標に向かって精一杯頑張っていきたいです。



## 県営かんがい排水事業「天津第2地区」の竣工

平成4年度に着手し18年の歳月を経て完成した県営かんがい排水事業・天津第2地区の竣工記念除幕式が平成22年3月14日に行われました。

老朽化した排水機場と排水路の改修により、486haの農地が洪水から守られ、農業経営の安定が図られるようになります。

式典当日は、本地区の排水機場敷地内に建立された竣工記念碑の前で安全祈願祭が執り行われ、来賓、関係者による竣工記念碑の除幕が行われました。

式典の主催者である清水南土地改良区の上田理事長は、「事業の完成で、活力ある農業に取り組まれることを願う」と述べられました。

最後に、18年間の長きにわたり、本地区の事業推進にご協力いただいた地元の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。



上田理事長あいさつ



完成した排水路

## 鳥獣害対策

イノシシやシカなどの有害鳥獣による農林業への被害が拡大する中、福井県は今年度から農林水産部内に「鳥獣害対策室」を新設しました。これまで農業部局と自然環境部局に分かれていた「被害防除」「個体数調整」「生息地管理」などの対策を一元管理し、農林業被害の効果的な防除を図っていくことがなれらいます。イノシシを金網柵・ネット柵や緩衝地帯で包囲網を作って効率的に捕獲したり、シカ大量捕獲用の大型柵を開発、被害集落の実態調査(3ヶ年300箇所)を行い対策マップを作るなど、5つの新規事業も打ち出しています。

福井農林総合事務所でも、鳥獣害対策現地指導チームを設置し、集落に応じた具体的な被害防除対策を支援していきます。本年度は14集落(福井市11集落 永平寺町3集落)を選定し、被害実態調査・被害要因マップの作成や、防除技術対策研修会の開催などを通して、集落リーダーの養成に取り組みます。



## 「農村活性化推進員、高志の食サポーターを紹介します」

(敬称略、五十音順)

福井県では、活力あふれる住みよい農村地域づくりのために「農村活性化推進員」を委嘱し、管内では12名の方々に活動していただきます。

さらに福井農林総合事務所では、農村文化の伝承や食育、地産地消を推進するために、農村活性化推進員とそのOB等27名を「高志の食サポーター」として委嘱し、農業の生産現場と消費者や子供たちを繋ぐ活動を行っていただきます。



高志の食サポーター			
農村活性化推進員			
福井市	永平寺町	福井市	永平寺町
上田 洋子	勝見 広美	石村 昌子	小林三枝子
小林多智子	川本リュウ子	近藤 栄子	竹澤タカヲ
杉田久美子	前川三恵子	武田 信子(休会)	南部よし子
花木 芳枝	前田 一美	田谷美千代	森塚美智子
濱下 啓子		堂本 初恵	山本 益子
林 佐智子		浜本 房子	
堀内 恵子		松濱 徳子	
宮腰 澄江		宮越 恵子	
		宮崎 幸枝	
		森永 照子	

## 花きと果樹の担当普及指導員の活動体制が変わりました！

これまで当事務所農業経営支援部で、「花きと果樹」を担当していた普及指導員が、4月1日から嶺北一円を担当する活動体制となり、農業試験場へ配属となりました。

これまで同様、農業経営支援部や関係機関と一体となり「花きと果樹」の技術指導や産地振興等に当たりますので、下記連絡先に気軽にご連絡ください。

上中昭博(果樹)

榎本博之(花き)

谷口弘行(果樹)

野上雅弘(花き)

### 《連絡先》

農業試験場 企画・指導部 高度営農支援課 広域普及グループ  
〒918-8215 福井市寮町辺操52-21  
TEL:0776-54-5107 FAX:0776-54-5103

### 編集後記

春先から続いた天候不順で体調を崩された方はいませんか。一時野菜の価格も高騰し、思わず地球温暖化の影響？と連想してしまいましたが、今回はその地球温暖化とも関連の深い「森林」について特集しています。

木材価格の下落など林業を取り巻く環境は大変厳しく、課題も山積しておりますが、第60回全国植樹祭が本県で開催されてから丁度1年経った今、改めてふくいの元気な森づくりについて考えていただければと思います。

福井県

発行：福井農林総合事務所  
〒910-8555  
福井市松本3丁目16-10 福井合同庁舎内  
TEL 0776-21-0010(代)  
E-Mail : fuku-noso@pref.fukui.lg.jp